九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

「コ・ファシリテーター方式」による構成的エンカウンター・グループのファシリテーター養成の試み

野島, 一彦
九州大学大学院人間環境学研究院

内田, 和夫
九州大学大学院人間環境学研究科

https://doi.org/10.15017/845

出版情報：九州大学心理学研究. 2, pp.43-51, 2001-03-31. 九州大学大学院人間環境学研究院
バージョン：
権利関係：

Kyushu University Psychological Research
2001, Vol.2, 43-51

「コ・ファシリテーター方式」による構成的エンカウンター・グループのファシリテーター養成の試み

野島　一彦　九州大学大学院人間環境学研究院
内田　和夫　九州大学大学院人間環境学研究科

A trial of facilitator training for structured enconter group by "Co-Facilitator Method"

Kazuhiko Nojima (*Faculty of human-environment studies, Kyushu university*)
Kazuo Uchida (*Graduate school of human-environment studies, Kyushu university*)

This paper is a case study on a tarial of facilitator training for structured encounter group by "Co-Facilitator Method". Training facilitator facilitated a structured encounter group (8 sessions, 90 minutes, every week, school) with a expert facilitator. We described the group structure and group process of this group. And we considered next 4 points. (1) Three kinds of time in the "Co-Facilitator Method", (2) multi roles of co-facilitator, (3) the experiences of co-facilitator, and (4) the impact for co-facilitator.

Keywords: "Co-Facilitator Method", structured encounter group, facilitator training

はじめに

近年，構成的エンカウンター・グループ（構成的グループ・エンカウンター）が一種の「流行」のようになり，実践・研究が盛んになっているが，それだけにきちんとしたファシリテーター養成をする必要がある。非構成的エンカウンター・グループのファシリテーター養成に関する研究（野島，1985，野島・畠瀬，1993：1994等）に比べて，構成的エンカウンター・グループのファシリテーター養成に関する研究は少なく，筆者が知る限りでは，菅沼（1985）のものだけである。このような状況を踏まえて本稿では，「コ・ファシリテーター方式」による構成的エンカウンター・グループのファシリテーター養成の試みを報告し，考察を行ないたい。

尚，「コ・ファシリテーター方式」というのは，ベテランのファシリテーターと養成されるファシリテーター（＝コ・ファシリテーター）が共同してグループを担当するものであり，毎セッションごとに，「プレ・ミーティング」（エクササイズの確認，簡単な打ち合わせ等）→「共同グループ担当」→「ポスト・ミーティング」（メンバーの「セッション・アンケート」をチェックし，グループを振り返って感想を述べあう等）が行なわれる。

グループ構成

1. 構成的エンカウンター・グループの位置づけ

この構成的エンカウンター・グループは，ある年の後期の学部の授業「心理療法論１演習」（90分間）において行なわれた。シラバスには次のように述べられている。

「臨床心理学的援助の方法としては，一対一で行われる＜個人アプローチ＞がわが国では最も多く用いられているが，それとともに集団独自の特性・機能等を用いる＜グループ・アプローチ＞も重要である。／＜グループ・アプローチ＞は，心理的治療，教育・訓練，心理的成長等を目的として種々の技法が開発されているが，本演習はそれらのなかから特に《エンカウンター・グループ》について概念的・体験的に学ぶ。／《エンカウンター・グループ》は，自己との出会い，他者との出会い，自己と他者との深くて親密な人間関係等を目的とする。その方法には２つある。①ベーシック・エンカウンター・グループ（非構成的エンカウンター・グループ）と②構成的グループ・エンカウンター（構成的エンカウンター・グループ）である。／今期は（入門コースとして位置づけられることが多い）「構成的グループ・エンカウンター」（数十名のメンバーに対しファシリテーターが種々のエクササイズを指示する形で進められる）を行なう。」

2. グループ編成

構成的エンカウンター・グループのメンバーは，この授業に参加した学部生及び聴講生（36名）である。性別は男性７名，女性29名。メンバーの年齢は19～50歳，平均24.3歳（SD=7.2）。セッションへの参加人数は平均28.6名（SD=2.9）。

ファシリテーターはこの授業の担当教官（構成的エンカウンター・グループ，非構成的エンカウンター・グループのファシリテーターのベテラン：50代男性），コ・ファシリテーターは心理臨床系の大学院生（構成的エンカウンター・グループのメンバー体験１回，非構成的エンカ

ウンター・グループのメンバー体験数回：20代男性）である。

ちなみにコ・ファシリテーターの募集は，この授業の担当教官がその研究室の院生（約10名）から公募する形で行なわれた。その結果，この院生1名のみが応募したので，この院生に決定した。

3. スケジュール

10月18日＝授業の進め方について／10月25日＝第1セッション：オリエンテーション・導入／11月1日＝第2セッション：自己主張・表現訓練／11月15日＝第3セッション：傾聴訓練1／11月29日＝第4セッション：傾聴訓練2／12月6日＝第5セッション：傾聴訓練3／12月13日＝第6セッション：自己理解／1月17日＝第7セッション：自己開示／1月24日＝第8セッション：信頼・まとめ

4. 場　所

場所は大きなプレイルームが用いられた。必要に応じて折りたたみ椅子がもちこまれた。

5. リサーチ

参加者は，グループ経験前後の「参加者カード」の記入，毎セッション後の「セッション・アンケート」への記入が求められた。

経　過

1. 参加前の気持

「参加者カード」がグループ経験の前後そろっている24名のメンバーの7段階評定のグループへの《参加意欲》（1：まったくない～4：どちらともいえない～7：非常にある）は平均＝5.63（SD=0.99）である。またグループへの《期待》（1：まったくない～4：どちらともいえない～7：非常にある）は平均＝5.38（SD=0.86）である。

ファシリテーターとコ・ファシリテーターの《参加意欲》と《期待》はすべて6である。コ・ファシリテーターの自由記述＝初めてメンバーとしてではなくコ・ファシリテーターとしてグループに関わるということなので，これまでとは違う視点でグループを眺め，たくさんの疑問や連想が湧いてくればと期待している。グループ全体の動きに注目したい。ファシリテーターの自由記述＝今回は初めてコ・ファシリテーターが入っている（構成的エンカウンター・グループのやり方をおぼえるため）。自分の状態としては，このところ多忙であり，何かゆったりと落ち着けていない感じがする。

2. グループ・プロセス

●第1セッション：オリエンテーション→ウォーミングアップ（参加者数＝30名）

(1) オリエンテーション

①「参加者カード」への記入の時間が少しとられる。／②この構成的エンカウンター・グループの目的，方法，ルール，ファシリテーターの役割，ファシリテーターとコ・ファシリテーターの自己紹介が行なわれる。

(2) ウォーミングアップ

（以下の各エクササイズの終わりの時間は，小さな鈴の音の「チリンチリン」で合図が行なわれる。）

①マン・ウォッチング：どのような人達がメンバーであるかをお互いに見ながら，挨拶をする。／②2分間マッサージ：2人一組となり，2分間ずつマッサージを行なう。／③背中合わせ：別の2人一組をつくり，背中を合わせて座り，1分間その感じを味わい，その感想を語り合う。／④直撃インタビュー：別の2人一組をつくり，3分間ずつその人の本質に迫るような質問をする。／⑤リポート：4つの2人組みが一緒になり8人組をつくり，1分間ずつ直撃インタビューで聞いたことをリポートしあう。／⑥キーワード付きの自己紹介：同じ8人組で自分の特徴を表すキーワードをいくつかつけて自己紹介をする。

〔参加者の感想〕　魅力度＝5.50（0.94）

《魅力度》とは，「セッション・アンケート」に記入されたセッションへの魅力である。7段階（1：まったく感じない～4：どちらでもない～7：非常に強く感じる）で評定する。参加者全体のものは平均点とSD（カッコ内）である。

参加者の感想は多岐にわたるが，ここではファシリテーター，コ・ファシリテーターについてコメントされている記述をひろう。

ファシリテーターについて：指示が分かりやすく，思っていたのと少し違う点（あまり威圧感がない）があり，ほっとしました。／もっとグループに介入してくるのかと思っていたが，実際は見回る程度だったので意外だった。／思ったよりグループ内に入ってこないのだなと思った。／指示だけに終始し，グループの動きに委ねて見守っていたところが参考になりました。／全体の様子をよく観察している。／手慣れた感じでスムーズに進めていて，とても良かったと思う。／なかなか良かったと思う。／進めるのが上手だな／エクササイズに熱中していたので，あまり注意していなかった。でも全体の雰囲気をつくるのはファシリテーターの口調や指示だと思うし，リラックスできたのもファシリテーターのお陰だとおもう。／穏やかな声で話を進められたのでリラックスできた。／先生の話し方はとても落ち着く空気を作るなと感心して聞いていました。／的確な指示と流れのもっていき方ができていたと思う。／的確な指示をいただきました。／時にはエクササイズの意図も示してくれたので良かった。／リラックスして取り組めるように誘導していたと思う。／やっぱり場を引っ張ってくれる（導いてくれる）存在がとても必要だと感じた。／フィードバックを聞いて，全体の雰囲気を知ることができた。マッサージは一寸複

雑な気持だったけど，ファシリテーターの「和んできたようだ」の言葉に，肯定的になれた。／フィードバックを聞いて，客観的に見たグループの様子を知ることができた。マッサージを相手の人にしている時は，その人が抵抗を感じていないかと少し心配になったけれども，先生の「和んできたようです」という言葉にほっとした。／聞く態度・話す態度が良くできていると言われると少しほっとする。／最後のフィードバックは，今日の授業をもう一度振り返る点でも良かった。／どういうふうなことに注意しているんだろう？と思った。

コ・ファシリテーターについて：時々ファシリテーターとコ・ファシリテーターが皆の輪の外をゆっくりと動いているのを見て，「見守って」くれている感じがした。／コ・ファシリテーターの方は何を書いているのかな？

〔コ・ファシリテーターの感想〕　魅力度＝7

メンバーとしてひとつのグループ（スモール・グループ）に関わるのと，ファシリテーターとして複数のグループに注意を向けるのではやはり見えるもの，感じること，考えることが随分と異なる。個々のグループの中で進行している相互作用を詳しく観察することはできないが，それでもグループごとの特色を見て取ることができる。そして何より，私が疑問に思ったことやファシリテーターの動きの意図についてグループが動いているまさにその場で直接解説していただいたことは，文献からは得られない貴重な学習となった。

〔ファシリテーターの感想〕　魅力度＝5.5

メンバーは比較的まじめに積極的にエクササイズに取りくんでいる様子。グループを進めていくうちに少しずつ自分の気持がのってきた。自分が思ったことはそのまま言っている。

●第２セッション：自己主張・表現訓練　（参加者数＝34名）

（第２セッション以後，前回の「セッション・アンケート」に書いてあった質問に，ファシリテーターがセッションの冒頭で答えるようになった。）

(1) 自己主張

①マン・ウォッチング：第１セッションと同じ。／②お願い：２人一組になり，一方が他方にお願いするが，他方は２分間は断り続け，最後に受け入れる。そして感想を述べあい，役割を交代して同様に行なう。／③押し売り：別の２人一組をつくり，一方が他方に何か押し売りをするが，他方は２分間は断り続ける。そして感想を述べあい，役割を交代して同様に行なう。

(2) 自己表現

①視線によるコミュニケーション：別の２人一組をつくり，先ず言葉を使わずに視線でコミュニケーションを１分間行い，感想を語り合う。次に一方が他方に視線で喜怒哀楽を伝え，感想を語り合う。その後，役割を交代して同様に行う。／②手によるコミュニケーション：別の２人一組をつくり，先ず言葉を使わずに手を握り合ってコミュニケーションを１分間行い，感想を語り合う。次に一方が他方に手を握って喜怒哀楽を伝え，感想を語り合う。その後，役割を交代して同様に行う。／③表情によるコミュニケーション：別の２人一組をつくり，先ず言葉を使わずに表情でコミュニケーションを１分間行い，感想を語り合う。次に一方が他方に表情で喜怒哀楽を伝え，感想を語り合う。その後，役割を交代して同様に行う。／④音声によるコミュニケーション：別の２人一組をつくり，一方が他方に昔話をする。その際，ファシリテーターの指示に従って，喜怒哀楽のいずれかの感情を込めて話す。終わってから感想を語り合う。その後，役割を交代して同様に行う。／⑤ジェスチャー：４つの２人一組が一緒になり８人グループをつくる。各グループから１人ずつ出てきてもらい，ファシリテーターがジェスチャーの課題を与え，それをグループにもどってやってもらう。終わると次の人に出てきてもらい，同様に行う。８人全員が１回は課題に挑戦する。

〔参加者の感想〕　魅力度＝5.68（0.88）

ファシリテーターについて：いろいろなコミュニケーション手段を教えていただいて大変面白かった。／今日みたいに講義というか，説明を入れてもらえるといい。／分かりやすく説明してくれた。／なかなかよろしかった。／相変わらず上手です。／最初は無理難題を言わないでくれと思った。だんだん慣れていった。／随分妙なことをやらされると思ったが，結果的には良かった。昔話に感情を込めるところなどは見本を見せてほしかった。／きちんとリードしていっていると思う。／ゆっくりした流れの進行だった。／スムーズに進んでいったように思います。／発言とかも楽しくて，場を和ませてくれていたように思う。／私たちの動きに対して，全体的な様子をコメントして下さるので，これでいいんだと肯定的な気持で取り組めた。／度々フィードバックして下さることで，客観的に見た自分たちの様子を知ることができた。／できなくても責めないでいてくれるので良かった。／肯定的な評価をしてくれるので，その気になった。否定的な評価はしないことにしているのですか？／すごくほめてばかりでいらっしゃるので，一寸本当かなあと思いました。活動途中，時々，今日の皆の様子について思ったことを話したりしてくれたので，「見守って」くれている印象を受けた。／先生も苦手だということを聞いて安心しました。／先週より楽しそうにされているような気がした。／先生自身もとても楽しんでおられるような気がしました。／あの鈴の音はgood!!／前回と異なり，どのエクササイズもとても早くベルの音が聞こえた。／言葉に詰まって言うことがなくなってしまうと，ファシリテーターの時間の終わりを告げるものとしての存在が

気になりはじめる。／もう少しそれぞれのエクササイズについての導入を丁寧にやってほしいと思いました。エクササイズになかなか感情移入できません。／一つのエクササイズずつを区切る時，時間以外に何を気にしているのですか。／マイクを持った方がいいのでは？と思った。熱中していると一寸声の方が聞き取りにくかったので。

コ・ファシリテーターについて：コ・ファシリテーターの気持も知りたいなと思った。

〔コ・ファシリテーターの感想〕　魅力度＝6

2回目ということで多少は慣れたところもあってか，メンバーの課題への乗り具合も随分よかったように思う。言葉を用いない課題が中心であったので，メンバーの表情が前回よりも豊かで，いきいきしていた。なおプレ・ミーティングにおいて，何回目か後のセッションでファシリテーターをやらせていただく旨を伝えられていたので，ファシリテーターのグループの進め方の観察にも熱が入った。

〔ファシリテーターの感想〕　魅力度＝5.5

グループは徐々にリラックスしてきているように思える。メンバーは素直に指示に従って動いている感じ。自分は落ち着いているし，穏やかな気持。エクササイズについて少し短いコメントを入れた。今日のエクササイズは自己開示は殆どないものだった。

●第3セッション：傾聴訓練1　（参加者数＝26名）

①傾聴の説明：傾聴についてのB5の資料（傾聴＝相手がその瞬間に感じているままに聴きとり，一つ一つ応答していくこと。傾聴のポイント＝相手が話しやすい雰囲気をつくること，じっくり聴くこと，理解していることを示すこと。傾聴のための基本的技法＝簡単な受容，くり返し，明確化，支持，質問〔リード〕）をもとに傾聴の説明をする。／②デモンストレーション：ファシリテーターが，コ・ファシリテーターに「この頃思うこと」というテーマで語ってもらい，傾聴のデモンストレーションを約5分間行う。／③＜簡単な受容＞の実習：3人一組となり，話し手，聞き手，観察者の役割をとる。「さっきのデモンストレーションを見ての感想」というテーマで話し手に3分間語ってもらい，それを聞き手は＜簡単な受容＞を用いて応答する。終わったら観察者を交えて話し合う。その後，役割を交代して同様に行う。3人が全部の役割を体験する。／④＜くり返し＞のデモンストレーション：ファシリテーターが，コ・ファシリテーターに「今思うこと」というテーマで語ってもらい，（＜簡単な受容＞に加えて）＜くり返し＞のデモンストレーションを行う。／⑤＜くり返し＞の実習：新たに3人一組となり，話し手，聞き手，観察者の役割をとる。「＜簡単な受容＞をやってみての感想」というテーマで話し手に3分間語ってもらい，それを聞き手は（＜簡単な受容＞に加えて）＜くり返し＞を用いて応答する。終わったら観察者を交えて話し合う。その後，役割を交代して同様に行う。3人が全部の役割を体験する。／⑥質疑：それまでについてのメンバーからの質問にファシリテーターが応える。

〔参加者の感想〕　魅力度＝5.57（0.71）

ファシリテーターについて：はじめに傾聴の例を示していただいたが，すごく受容しているなと感じた。目が特になんでも受けとめてくれそうだと思った。／先生の職人芸を少しだけ見ることができました。先生は「見守る目」が大切だとおっしゃいましたが，先生自身の目は正に見守る目だと思いました。／先生の傾聴の仕方で，相手の言葉そのままをくり返すことを見させてもらって本当に相手の言葉の一言一句をもらさず聞いているのだなあと思った。／教授のデモンストレーションを拝見していて，こんなに人の話を真剣に聞いてもらえるというのはありがたいと思って見ていました。／実例が，見ててすごく上手だと感じた。／非常に上手だと思った。／先生はプロだなあと思った。私たちが先生が傾聴しているのを見てても，自然にできるので。／今回はリスナーの手本として実演をされていたが，やはり非常に上手だなあと感じた。特に自分達がやってみた後に再度見て実感した。／モデルを見せられた時，最初は自分でもできるかなと思ったが，くり返しと明確化の区別がつきにくかったりして難しかった。やっぱり先生はすごいと（今さらながら）思った。／傾聴の見本を見せていただいて，大変分かりやすかった。／いきなりのデモンストレーションにもかかわらず，さすがに普段からされているだけのことはあると感心しました。／先生の「積極的傾聴」を拝見するのは2度目だったけれども，やはりお上手だなと思った。聴く時の表情や受容の仕方，くり返しや明確化を行なう時のタイミングのとらえ方が，相手の話を聴こうという意志をはっきり表していて，とても勉強になった。／先生はやはり自然に積極的傾聴ができるのだなあと感心してしまいました。他から見ていても，暖かい受容されている感じが伝わってきました。／お手本がとても上手で，参考になりました。／先生の人の話を聞く姿勢からは勉強する所がたくさんあります。自分はまだまだだと思うことばかりです。／さすが！の一言。／よかったと思う。／デモンストレーションがあり，具体的で良かった。／見回っていたみたいだが，あまり気にならなかった。

コ・ファシリテーターについて：大勢の前で話すのは大変そうだった。／先生との対話で，自分の考えを述べられた時に，最初は話しにくそうであったけれども，だんだん話しやすそうな表情になっているなと思った。／ご苦労様。／

〔コ・ファシリテーターの感想〕　魅力度＝6

今回は人数が足りなかったためにグループに入ることになった。これまではグループと直接関わってはおらず，なんとなく蚊帳の外という感じがあっただけに，メンバーと関わることができたことが嬉しかった。それでも純粋にメンバーとして参加している場合と異なり，意識が課題の遂行に向かうというよりは，自分の関わる小グループの動き，メンバー個々の動きを意識する。

〔ファシリテーターの感想〕　魅力度＝5.5

メンバーは3人組で結構真面目に取り組んでいる様子。デモンストレーションで，コ・ファシリテーターがやや話しにくそうな感じがした。私自身はいろいろあり，やや元気が出なかった。

● 第4セッション：傾聴訓練2　（参加者数＝31名）

①＜明確化＞のデモンストレーション：ファシリテーターが，コ・ファシリテーターに「これまでで思ったこと・感じたこと」というテーマで語ってもらい，（＜簡単な受容＞＜くり返し＞に加えて）＜明確化＞のデモンストレーションを行う。／②＜明確化〉の実習：3人一組となり，話し手，聞き手，観察者の役割をとる。「デモンストレーションを見て思ったこと・感じたこと」というテーマで話し手に3分間語ってもらい，それを聞き手は（＜簡単な受容＞＜くり返し＞に加えて）＜明確化＞を用いて応答する。終わったら観察者を交えて話し合う。その後，役割を交代して同様に行う。3人が全部の役割を体験する。／③＜支持＞のデモンストレーション：ファシリテーターが，一人のメンバーに「今日のこれまでの研修で思ったこと・感じたこと」というテーマで語ってもらい，（＜簡単な受容＞＜くり返し＞＜明確化＞に加えて）＜支持＞のデモンストレーションを行う。／④＜支持＞の実習：新たな3人一組となり，話し手，聞き手，観察者の役割をとる。「これまでで思ったこと・感じたこと」というテーマで話し手に3分間語ってもらい，それを聞き手は（＜簡単な受容＞＜くり返し＞＜明確化＞に加えて）＜支持＞を用いて応答する。終わったら観察者を交えて話し合う。その後，役割を交代して同様に行う。3人が全部の役割を体験する。

〔参加者の感想〕　魅力度＝5.97（0.67）

ファシリテーターについて：今日も良かった。／うまく進行していたように思う。／場の雰囲気を良くする方向へと導いてくれていると感じた。／よくグループの雰囲気を見ていると思う。／うまくグループの動きをまとめたり，コントロールして流れにのせていっている感じがする。／さすが…の一言。／さすがに先生は上手。／デモンストレーションの時，スピーカーが話す前から，既に聞く構えになっていて，とても話しやすそうな雰囲気だった。やはり話し始める前からの雰囲気づくりも大事なんだと思った。／模範を示す際のカウンセリングが，技法が増えたせいか，前回よりもとても自然だったように感じました。／相手の目を見て本当に真剣な顔で聞いていたのがすごいと思った。リピート等が自然で，会話がスムーズに流れていた。／今回は椅子に座ってみんなの注目がより一層集中していたので，少し緊張されているように見えた。／先にデモンストレーションをしてもらって分かりやすかったが，2回目の分は，ひととおり会話がすんでから，「これがサポートです」と言ってほしかった。一寸分かりにくかった。／支持（サポート）のモデルの時間が短くて分かりづらかった。あと，会話の途中ではなく，終わってから説明してもらいたかった。／2度目のモデリングの時に，もう少したくさんしていただければ，もっと理解しやすかったかなと少し残念だった。／デモンストレーションの時に，明確化，支持とか言ってもらえると分かりやすい。／いつ聞いても上手です。すごいと思いました。／デモンストレーションを見せていただいたが，本当に相手の方に緊張させない聴き方，声のトーン，雰囲気が上手だと思った。／コメントがとてもやさしくてサポーティブでした。／いつも終わった後に暖かい言葉をかけてもらえるので安心する。／ポジティブなフィードバックを返して下さることで，自分の傾聴の仕方は間違っていないのだと感じることができた。また，3人グループでやっている時は，なかなか周囲に目がいかないけれども，ファシリテーターが全体の様子を話して下さることで，周囲の様子を知ることができた。／グループに分かれてやっているので，他のグループはどうしているのかなと思っていたので，全体の評価がエクササイズごとに入っており，なんだかそれを聞くことで安心して次のエクササイズに進めた。／グループの状態をよくつかまれていたと思う。／今日もお疲れ様でした。／初めてファシリテーターに聴いてもらう機会があり，皆の前ということで恥ずかしかったが，正直，嬉しかった。やはり話しやすかった。／話の内容がこのセッションの感想に限られているが，ここでの今の感情を大切にするということなのか，日常生活の話題では動揺が起こるからなのか，どちらなのかなと思った。僕としては，日常生活の体験を話題にした方が，その人をもっとよく知ることができるのになと思う。

コ・ファシリテーターについて：　（コメントなし）

〔コ・ファシリテーターの感想〕　魅力度＝5

再び外からグループを観察し，全体の動きを知ることができるのはいいのだが，「さみしさ」を強く意識した。自分がグループに関わっていない感じ，蚊帳の外にいるという感じが一層強くなった。そのことを「ポスト・ミーティング」でファシリテーターに語ると，次回からエクササイズの合間にコ・ファシリテーターのフィードバックの時間を設けることになった。

〔ファシリテーターの感想〕　魅力度＝5.5

メンバーは大分うまくなっている。ただメンバーはこ

のエクササイズにのれる人とのりにくい人と二極化してきているか。自分は穏やかな気持で指示ができた。

●第5セッション：傾聴訓練3　（参加者数＝26名）

①＜質問〔リード〕＞のデモンストレーション：ファシリテーターが，コ・ファシリテーターに「これまでの感想」というテーマで語ってもらい，（＜簡単な受容＞＜くり返し＞＜明確化＞＜支持＞に加えて）＜質問〔リード〕＞のデモンストレーションを行う。／②＜質問〔リード〕＞の実習：3人一組となり，話し手，聞き手，観察者の役割をとる。「これまでの感想」というテーマで話し手に3分間語ってもらい，それを聞き手は（＜簡単な受容＞＜くり返し＞＜明確化＞＜支持＞に加えて）＜質問〔リード〕＞を用いて応答する。終わったら観察者を交えて話し合う。その後，役割を交代して同様に行う。3人が全部の役割を体験する。／③総合練習：新たな3人一組となり，話し手，聞き手，観察者の役割をとる。「私の問題・悩み」というテーマで話し手に10分間語ってもらい，それを聞き手は5つの技法（＜簡単な受容＞＜くり返し＞＜明確化＞＜支持＞＜質問〔リード〕＞）を用いて応答する。終わったら観察者を交えて話し合う。その後，役割を交代して同様に行う。3人が全部の役割を体験する。

〔参加者の感想〕　魅力度＝6.16（0.85）

ファシリテーターについて：うまく進行していたように思う。／あのたった数分間で5つの要素を入れるとはやはりすごいと思った。／自然に受け答えができるのがすごいと思った。／あまりにも自然なので時々働きが分からなくなる。／すごいと思った。／とにかく毎回デモンストレーションをやっていただけるので，エクササイズに取り組みやすいです。／1回1回感想を聞かせてもらえたので，どんな風に上手になったり，溶け込んだりできるようになっていくのかを見せてもらえた感じがします。分かりやすい言葉を使ってくれるので本当にいい。／説明してもらえると分かりやすい。／とても参考になった。／とても良かったです。／よくみんなの動きを見ているなと感じた。／それぞれのグループの状況を的確につかまれていた。／グループの様子についてフィードバックしていただくことで，客観的な目で見た自分達の様子が分かった。先生は，比喩を用いた説明が本当に上手だなと思った。／今回，グループの側を通られた時に緊張を感じてしまいました。自分がうまく出来ていないなあと思っている時だったからかもしれません。／コ・ファシリテーターとの連携が素晴らしかった。／前回，自分が「グループに親しい人がいると難しい」と言ったが，今回，メンバーを知っている人同士が固まらないように配慮してもらったので嬉しかった。

コ・ファシリテーターについて：正直な気持を語ってくれるので分かりやすい。／コ・ファシリテーターはすごく私の気持を代弁してくれているなと思った。／今回はコ・ファシリテーターの人も中に入っていたので，エクササイズの都度感想を述べていたので，やっている側としては心情を代弁してもらって良かった。／今日はコ・ファシリテーターが合間合間にコメントを入れてくれたのが良かった。周囲をしっかり見ているんだなと思った。／コ・ファシリテーターがコメントを言うのが上手になられたと思う。緊張が彼自身とれてきている。／親しみやすくて良かったです。

〔コ・ファシリテーターの感想〕　魅力度＝6

人数が合わなかったため，再びメンバーに混じってエクササイズに参加。コ・ファシリテーターが入るということで，メンバーは少し固くなっていた。皆に緊張を与えていることを申し訳なく思い，コ・ファシリテーターの肩書きを煩わしく感じる。しかしそれもメンバーの緊張が緩んでゆくに従って，次第に意識しなくなり，自然に関わることができた。また，エクササイズの合間のコ・ファシリテーターのコメントが，小グループ内で起こったことを全体にフィードバックすることになり，メンバーにとっては自分の経験をより深く理解する機会となったのではないかと思われる。

〔ファシリテーターの感想〕　魅力度＝6

全体的に落ち着いた雰囲気。自分は穏やかでゆったりした感じ。コ・ファシリテーターに練習のたびに感想を言ってもらうことが良かった。3セッションかけて大分傾聴の感じがよくなってきているように思う。

●第6セッション：自己理解　（参加者数＝27名）

①金魚鉢方式：（コ・ファシリテーターも入って）4～5人一組を6つつくり，2つの組がワンセットとなる。つまり3セットできる。ワンセットの1つの組が小さな円になり，別の組がそれを大きく取り囲む。小さな円の組は，10分間，集団討議（テーマ＝「これまでの研修をとおして思ったこと・感じたこと」）を行う。取り囲んでいる円の人は小さな円の人をマンツーマンで観察する。討議が終わったら，観察したことを1人1分間ずつフィードバックする。フィードバックが終わったら，小さな円の人達は感想を3分間，話し合う。終わったら，中の円と外の円が入れ代わり，同様に行う。／②最後にファシリテーターが「ジョハリの四つの窓」について図を書いて説明する。

〔参加者の感想〕　魅力度＝5.62（1.02）

ファシリテーターについて：とてもおもしろいエクササイズを提供していただいたと思う。／良かったと思う。／とても良かった。／適切だったように思います。／具体例を交えての説明で，いつも理解が深まります。／2回目も1回目と同様に，進め方について説明がなされていたので，目的をはずずことなくセッションが行なえたと思う。／先生はやはり説明がお上手だと思った。／窓

の説明が良かったです。／最後の話はとても分かりやすかった。／グループをよくみているなとコメントを聞いて感じた。／ちゃんと周りをよく見ているなあと思った。／今までのまとめという感じのコメントが多かった。／グループの雰囲気を客観的に見ている。／あまり自然にふるまっておられるので，役割がそれほど目立って分かりません。

コ・ファシリテーターについて：コ・ファシリテーターが同じグループだった。初めて同じグループになったのだが，存在感があった。／コ・ファシリテーターが落ち着いておられて，グループのなかで頼りにしてしまった。

〔コ・ファシリテーターの感想〕　魅力度＝6

今回もエクササイズに参加。集団討議でのメンバーの「ファシリテーターがいるから」という発言に動揺する。メンバーとして参加したいという気持ちが強いが，やはりそれは無理な話であるとも思う。コ・ファシリテーターはファシリテーターにもなれず，メンバーにもなれない存在か。

〔ファシリテーターの感想〕　魅力度＝5.5

人数分けで少しモタモタしたが，グループはスムーズに進行したと思う。自分は穏やかで落ち着いていると思う。声も出ていると思う。

●第7セッション：自己開示　（参加者数＝28名）

①「今年になって思うこと」：5～6人グループを5つつくる。グループの中で，「今年になって思うこと」というテーマで，自分のことを自己開示しながら1人5分間ずつ，順番に語る。一回りした後，補足や感想を述べるために10分間をとる。ファシリテーターはデモンストレーションとして，自分のことを語る。／②「自慢話」：同じグループで，「自慢話」というテーマで同様に行なう。ファシリテーターも，デモンストレーションとして，自分のことを語る。

〔参加者の感想〕　魅力度＝5.89（1.10）

ファシリテーターについて：とても良かったです。／良かったと思う。／リードがうまいです。／リードがうまい。／最初にファシリテーターが例を示しているのが分かりやすくて良かった。／2つの課題提示の際に，ファシリテーターの「自己開示」が行なわれたので，課題に取り組みやすかった。／最初にファシリテーターの自己開示があり，親近感がわいた。／分かりやすい例を出していただいて，皆割とエクササイズに入りやすくなったと思う。／ファシリテーターの話がとても自己開示されていて，話しやすい雰囲気になったと思う。／具体的な例を話していただいて，何を話したらよいかよく分かった。／ファシリテーターの話に感動しました。最初にファシリテーターが積極的な自己開示をして下さったことで，私自身も自己開示する心構えができたと思う。／単に例を見せるというだけでなく，話自体も興味がひかれるもので聞き入ってしまった。／ファシリテーターの話を聞いて頭が下がる思いです。／ファシリテーターの話にとても感動した。／ファシリテーターのネコの話が楽しかった。／ファシリテーターの話を聞いて，目標を持てばかなうんだと励まされた。／周りを歩かれる時，緊張する。／ベルをならす時，ぎりぎりまで中断しないようすごく気を使ってらっしゃるのに今日気づいた。／遅刻して怒られると思っていたのに穏やかな口調で案内していただけたのでホッとした。

コ・ファシリテーターについて：コ・ファシリテーターが自分達のグループだったので，最後感想を言われている時は，少し照れくさかった。

〔コ・ファシリテーターの感想〕　魅力度＝6

前回に引き続いてエクササイズに参加。今回はお互いに顔見知りが多かったこともあってか，コ・ファシリテーターが入ることによるメンバーの緊張は見られない。コ・ファシリテーターであることはあまり意識せず，比較的自然に関わることができた。

〔ファシリテーターの感想〕　魅力度＝5.5

メンバーは，まあまあのってやっているように見える。12.13の第7セッション以来，4週間ぶりのセッションで，自分の動きがいまいちスムーズではないか。しかし，落ち着いてはいる。1人が20分遅れで入ってきたが，すぐスモール・グループに慣れたと思う。

●第8セッション：信頼・まとめ　（参加者数＝28名）

（ファシリテーターは都合がつかず欠席。コ・ファシリテーターが単独でやることになった。）

①マン・ウォッチング：2分間，自由に歩き回る。／②ブラインド・ウォーク1：一人で1分間，目を閉じて動き回る。／③ブラインド・ウォーク2：近くの人と2人組になって，一方が目を閉じ，他方が手を引いて2分間，動き回る。感想を1分間語った後に，役割を交代して同様に行なう。／④クィーン・マッサージ：近くの2人組と一緒になって4～5人組をつくり，1人につき2分間，他の3～4人でマッサージを行ない，感想を1分間語る。以後，全員が同様の体験をする。／⑤集団討議：第6セッションの自己理解の際のよいディスカッションの条件を確認後，一人一言ずつ「信頼を得るためには」ということについて語り，以後25分間のディスカッションを行なう。さらに3分間，フィードバック，補足・感想を述べる。／⑥まとめ：最後に，信頼についてエリクソンの発達理論からの話，カウンセリングにおけるラポールの話を簡単に行なう。さらに，今日のセッションの総括と，今期のグループ全般についての感想（今回の構成的エンカウンター・グループの目的はある程度達成できたのではと思う等）を述べて，まとめとする。

〔参加者の感想〕　魅力度＝5.89（0.88）

コ・ファシリテーターについて：はじめてのファシリ

テーターということだったけれども，指示の出し方やフィードバックがとても分かりやすく，自分達が何をすればよいのか，あるいはグループの中でどんな様子だったかについて知ることができた。／ファシリテーションはとても良かった。分かりやすかった。／リラックスをした雰囲気をかもし出していてとてもやりやすかったです。お疲れ様でした。／みんなを暖かく見守っている感じ。／今日は先生の代わりにこの授業の最後をまとめて下さって素晴らしかった。／先生に代わって最後をしめるということで，緊張されていたとは思うが，うまく時間を使って，みんなをまとめあげられていたと思う。／キチンと場をまとめていた。／最後のセッションであったが，とても皆を暖かくエクササイズに誘導していたと思う。／とてもスムーズにうまく進行していたように思う。／とてもうまく進行されていたと思う。みんなをうまくリラックスさせていたと思う。／信頼についての説明があって良かったです。／最後のお話良かったです。練習されたのでしょうか。／各グループを巡回し，それぞれのグループの状態をしっかり把握できていた。／みんなで討論していた時，グループの周りを歩いていたのが時々視界に入った。／初めてのファシリテーター経験とは思えないほど，今セッション，今授業の終わりにきちんとしめてくれた。／最後の授業を初めてファシリテーター役として行なうということで緊張するのではと思いました。メンバー同士がセッションを重ね，打ち解けていたこともあってか，それほど緊張したようには見えませんでした。／とても良かったと思います。初ですよね。やや緊張感も伝わってきましたが…／良かった。／良かったです。／一寸緊張していた様子だったけど，ちゃんとできてました。お疲れ様です。／素晴らしかったと思う。／お一人なのによくやられているなと思いました。／誠実そうな人だと思った。／とても頑張っていらっしゃいました。お疲れ様でした！私はエンカウンター・グループのファシリテーターは先生しか知らないので，ファシリテーターが変わるだけでも場の雰囲気が変わることがとても新鮮に感じられました。／今までお疲れ様でした。／お疲れ様でした。

〔コ・ファシリテーターの感想〕　魅力度＝7

始めはひどく緊張していたが，イメージ通りに進行したことで落ち着きを取り戻すことができた。まがりなりにも1セッションを自ら企画，進行し，なんとか無事終えたことで自信もついたし，グループをやり遂げたという実感を得てグループを終えることができた。

3. 参加直後の感想

「参加者カード」がグループ経験の前後そろっている24名のメンバーの7段階評定のグループへの《満足度》（1：非常に不満～4：どちらともいえない～7：非常に満足）は平均＝6.26（SD=0.74）である。コ・ファシリテーターの《満足度》は7である。

考　察

1.「コ・ファシリテーター方式」における3種類の時間

「コ・ファシリテーター方式」は，3種類の時間（「プレ・ミーティング」「共同グループ担当」「ポスト・ミーティング」）がワンセットになっている構造である。単にファシリテーターとコ・ファシリテーターが，共同でグループを担当するだけではない。このように，3つが有機的につながっていることが大事である。「プレ・ミーティング」のなかで，プログラムの準備とともに，ファシリテーター，コ・ファシリテーターの心の準備ができる。また，「ポスト・ミーティング」では，一緒にグループを振り返ることを通して，グループやメンバーについての理解を広げたり深めたりすることができるし，次のセッションにむけての心構えをつくることができる。「プレ・ミーティング」「共同グループ担当」「ポスト・ミーティング」といった一連の流れがそろってはじめて，「コ・ファシリテーター方式」は成立するのである。

2. コ・ファシリテーターの多面的役割

セッションの「共同グループ担当」において，コ・ファシリテーターの役割は，状況に応じて，「観察者」「アシスタント」「メンバー」「ファシリテーター」と多面的に変化することが特徴的である。①エクササイズの内容，②ファシリテーターの都合，③参加メンバー数が毎回固定していないための人数合わせ等の理由で，コ・ファシリテーターは，臨機応変に動かざるをえない。このことは，グループに対して異なるいろいろな立場を経験することで，グループについて立体的に理解できる機会にもなりうるが，時には不満や不安を生むことになる。これはコ・ファシリテーターの宿命のようなものでもあろう。

尚，コ・ファシリテーターの不満や不安への対応としては，「ポスト・ミーティング」で，コ・ファシリテーターが率直にそのような気持を表現するとともに，ファシリテーターによるサポートが必要かつ有効である。

3. コ・ファシリテーターの体験

セッションの「共同グループ担当」において，今回のコ・ファシリテーターはどのような体験をしていたのであろうか？コ・ファシリテーターの自由記述からは次のようなことが伺える。①ファシリテーターのグループの進め方を観察しその意図を教えてもらう。②複数のスモール・グループごとの特色を観察する。③メンバーの様子を観察する。④スモール・グループにメンバーとして参加していても，メンバー個々，スモール・グループの動きを観察する（参加しつつの観察）。⑤全体を観察してのフィードバックを行なう。⑥自分が入ったスモール・グループについてのフィードバックを全体のなかで行なう。⑦セッションを自ら企画し進行する。

ここであげられていることは，セッションの「共同グループ担当」においてコ・ファシリテーターが，「コ・ファシリテーター方式」で体験できる殆どであるように思われる。そしてこれらの体験を通してコ・ファシリテーターは，グループやメンバーについての理解を深め，ファシリテーターのあり方やファシリテーションのコツを学んでいくように思われる。

また，これに加えて「ポスト・ミーティング」におけるファシリテーターとコ・ファシリテーターでの，「セッション・アンケート」をチェックしながらのグループの振り返りも，セッションのなかでの体験を意識化・言語化・一般化していくことに役に立っているように思われる。

尚，「セッション・アンケート」には，外側からの観察だけではどうしても把握することができない参加者の内面が結構率直に述べられており，ファシリテーターとコ・ファシリテーターにとっては，メンバー理解をするのにとても有効である。「ポスト・ミーティング」をする際に，「セッション・アンケート」があるとないでは，メンバー理解は大きく異なってくるであろう。とりわけ「コ・ファシリテーター方式」によるファシリテーター養成では，これは必要不可欠のものと言ってもよいであろう。

4. コ・ファシリテーターへのインパクト

今回の「コ・ファシリテーター方式」の経験は，コ・ファシリテーターにとってはグループのファシリテーションについていろいろ学ぶことができ，自信を持つことにつながっているように思われる。ちなみにこのコ・ファシリテーターは，この経験の約半年後に，2泊3日の看護学生の構成的エンカウンター・グループのコ・ファシリテーターを引き受けている。

今回初めて「コ・ファシリテーター方式」による構成的エンカウンター・グループのファシリテーター養成を試みて，この方式は有効であるとの感触を得たので，今後も「コ・ファシリテーター方式」をリファインしながらやっていきたいと思う。

引用文献

野島一彦（1985）グループ・ファシリテーターの養成をめぐって，九州大学心理臨床研究，4，99-105.

野島一彦・畠瀬　稔（1993）カウンセラー＆ファシリテーター研修グループの試み―パースン・センタード・アプローチにおける，福岡大学人文論叢，25(2)，463-483.

野島一彦・畠瀬　稔（1994）ファシリテーター研修グループの試み―パースン・センタード・アプローチにおける，福岡大学人文論叢，26(3)，1007-1034.

菅沼憲治（1985）グループ・ファシリテーターの養成をめぐって―構成的グループ・エンカウンターの立場から，野島一彦・安部恒久編，グループ・ファシリテーターの養成をめぐって―第3回日本心理臨床学会自主シンポジウム（1984年，広島大学），日本グループ・アプローチ研究会資料 No.1，7-9.